

[中吐]オニバイド+5-FU/LV療法

処方医:

適応症: がん化学療法後に増悪した治癒切除不能な膵臓癌
2週間を1クールとして投与を繰り返す

Table with 14 columns (days) and 3 rows (Onivyde, Leovorin, Fluorouracil).

身長: cm 体重: kg 体表面積 m²

[投与スケジュール] (クール目)

Day1(月日~月日)

オニバイドはインラインフィルター付輸液セットは使用禁止

Main table with columns for '本管' (Main Line) and '側管' (Side Line), listing drug names and dosages.

プライミング

Table listing specific drug administration details for Day 1, including Onivyde and Leovorin.

※フルオロウラシル4250mgを超える時は、HOME PUMP 5mL/hr、270mLを使用し、全量230mLになるように調製する。

** UGT1A1*6もしくはUGT1A1*28のホモ接合体を有する患者
並びにUGT1A1*6及びUGT1A1*28のヘテロ接合体を有する患者は50mg/m²を開始用量とする
忍容性が良好な場合は2コース目以降の投与を70mg/m²に増量可

[DLF] フルオウラシル白血球減少・口内炎および下痢
オニバイド 白血球及び下痢(水様便)

DAY2(月日)~DAY3(月日)

Table for Day 2-3 administration, listing Decadron and dosage.

[適正使用基準]

- 1. 口内炎がない
2. 下痢がない
3. TS-1が投与されていないかまたは投与中止後7日以上経っている
4. 重症感染症またはその疑いがない
5. 腸管麻痺・腸閉塞がない
6. 間質性肺炎または肺線維症がない
7. 多量の腹水・胸水がない
8. 黄疸がない
9. 硫酸アタザナビルを投与されていない
10. PS(Performance Status)が0~2である
11. 生理機能が十分に保持され、下の基準を満たす。

オニバイドの投与量
[今回の投与量] [累積投与量]
mg/body mg/b

投与可能条件		
WBC	(/ μ L)	4000 \leq
Neut	(/ μ L)	1500 \leq
PLT	(/ μ L)	10万 \leq
HGB	(/ μ L)	9<
GOT	(IU/L)	\leq 40
GPT	(IU/L)	\leq 35
TBil	(mg/dL)	\leq 1.2
BUN	(mg/dL)	\leq 20
Cr	(mg/dL)	\leq 1.1

[肝機能を考慮した投与量の調節]

TBil(mg/dL)	<5.0	5.0 \leq
フルオロウラシル	100%	中止

減量基準

副作用	程度	減量方法
好中球減少	Grade3以上またはFN	オニバイド及び5-FUを1段階減量する
白血球減少	Grade3以上	
血小板減少		
下痢		
その他(無力症、食欲減退除く)		
悪心・嘔吐	Grade3以上	オニバイドを1段階減量する

減量時の投与量

○UGT1A1 * 6もしくはUGT1A1*28のホモ接合体と**有さない**患者

並びにUGT1A1 * 6及びUGT1A1*28のヘテロ接合体を**有さない**患者

	オニバイド(イリノテカンとして)	フルオロウラシル
開始用量	70mg/ m^2	2400mg/ m^2
1段階減量	50mg/ m^2	1800mg/ m^2
2段階減量	43mg/ m^2	1350mg/ m^2
3段階減量	中止	中止

○UGT1A1 * 6もしくはUGT1A1*28のホモ接合体と**有する**患者

並びにUGT1A1 * 6及びUGT1A1*28のヘテロ接合体を**有する**患者

	オニバイド(イリノテカンとして)	フルオロウラシル
開始用量	50mg/ m^2	2400mg/ m^2
1段階減量	43mg/ m^2	1800mg/ m^2
2段階減量	35mg/ m^2	1350mg/ m^2
3段階減量	中止	中止

[DLF以外の重大な副作用]

フルオロウラシル

- ・脱水症状【激しい下痢等】
- ・出血性腸炎、虚血性腸炎、壊死性腸炎【激しい腹痛・下痢等】
- ・ショック、アナフィラキシー様症状【発疹・チアノーゼ・呼吸困難・血圧低下等】
- ・白質脳症【歩行時のふらつき・四肢末端のしびれ感・舌のもつれ感等】
- ・うっ血性心不全、心筋梗塞、安静狭心症【疲労感・息苦しさ・むくみ・胸痛・胸部圧迫感等】
- ・急性腎不全【むくみ・尿量低下等】
- ・間質性肺炎【咳・息切れ・呼吸困難・発熱等】
- ・肝機能障害・黄疸、肝不全【食欲不振・倦怠感・黄疸・検査値異常等】
- ・消化管潰瘍【食欲不振・腹痛・吐血・下血等】
- ・急性膵炎【腹痛・腰背痛・発熱・嘔吐・血清アミラーゼ値上昇等】
- ・意識障害を伴う高アンモニア血症
- ・肝・胆道障害(胆嚢炎、胆管壊死、肝実質障害等) * 肝動脈内投与時【腹痛・発熱・黄疸等】
- ・手足症候群【手掌・足趾の紅斑・疼痛性発赤腫脹・知覚過敏等】
- ・臭覚障害、嗅覚脱失(長期投与症例に多い)

オニバイド(イリノテカン)

- ・腸炎・腸閉塞・消化管出血
- ・間質性肺炎

- ・急性腎障害
- ・infusion reaction
- ・感染症
- ・肝機能障害
- ・播種性血管内凝固
- ・心室性期外収縮

